ごうつ

市議会だより

キリスト教愛真高校 二年 森川千歳



2026.12
No.169

キリスト教愛真高校の文化祭での演奏

＼ 皆さまの税金はこのように使われました ／

令和7年度決算 認定

最重要課題である人口減少対策に必要な施策「スマートシティ江津推進構想」に基づくDXの推進に引き続き重点を置き編成された令和7年度の執行状況を審査。

（委員長／下谷忠広　副委員長／森元健二　委員／議長・監査委員を除く全議員）

一般会計・特別会計

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		193億3824万円	185億2451万円
特別会計	国民健康保険事業	28億6077万円	28億5711万円
	国民健康保険診療所事業	129万円	129万円
	後期高齢者医療事業	8億6915万円	8億5788万円

水道事業会計

	収入総額	支出総額
収益的収支	8億1613万円	7億5190万円
資本的収支	3億　674万円	5億3231万円

下水道事業会計

	収入総額	支出総額
収益的収支	9億1889万円	8億6183万円
資本的収支	8億9806万円	9億5430万円

小学校教育施設整備

郷田小学校の消防設備改修工事・江津東小学校の外壁改修工事を実施し、教育環境を向上

1億8322万円



江津東小学校

人・農地ビジョン推進

地域計画（人・農地ビジョン）の推進に向け、担い手確保・育成や実証事業などの実施や必要な機械・施設の整備を支援

2926万円



ほ場（桜江町今田）

ライスセンター再編整備

令和６年度に引き続き、米の生産状況に対応した能力の増強や品質向上に向けた機械設備を整備し、生産振興を図る

4億8380万円

委員質疑

問 施設再編後の利用者からの意見や課題は。

答 利用者から水曜日の休業について稼働してほしいという意見や、共同乾燥に対する懸念があった。

ライスセンター利用助成

エネルギー価格・物価高騰の影響を受け、利用料金の引き上げを行ったライスセンター利用者に対し、現行料金と新料金の差額を支援

306万円

委員質疑

問 再編前後での利用件数・利用量の比較は。

答 令和６年度の利用件数157件・荷受重量423トン、令和７年度の利用件数127件・荷受重量506トン、30件減・83トン増となった。

防災集団移転促進

江の川流域治水の推進を図るため、災害危険区域内の居住に適当でないと認められる住居の移転を促進

3億6521万円

仮称西部統合小学校建設

「第２次学校整備再編基本計画」に基づき津宮小学校・川波小学校の統合に向け、建築実施設計や造成工事などを実施

2億7198万円

委員質疑

問 施設規模を検討した際の開校時から１０年後などの児童数や学級数の推計とその推計をどのように反映させたか。

答 施設規模について、統合時において必要不可欠な規模・教室数を確保することを前提として設計。

物価高騰対策（学校給食費）

物価高騰により食材の高騰が続く中、栄養バランスや量を保った安全安心かつ安定的な学校給食を提供するため、給食費の補助を実施

2447万円

消防施設整備

消防団が消防防災活動を迅速かつ効率的に実施できるよう消防設備などを整備

- 渡津分団消防ポンプ格納庫新築工事
- ポンプ積載車２台購入
- 消防ホース購入
- 消火栓設置替（６基）
- 消火栓修繕（２基）

3085万円

商業活性化支援

地域経済の活性化、中小企業の振興および商業機能の維持・向上を促進

- 有福温泉町２件（飲食業・小売業）
- 江津町１件（飲食業）

247万円





令和8年第3回定例会

令和8年度 一般会計補正予算(第2号)

可決

予算額 6億5489万円(補正後総額205億3337万円)

地域医療支援対策

地域医療対策貸付金 …… 4億円
地域医療施設整備 …… 2490万円
- MRI AI画像再構築システム
- 錠剤一包化監査支援システム
- 手術台

4億2490万円

委員質疑

問 貸付金4億円の返済計画と済生会江津総合病院の黒字化の見通しは。

答 返済は無利子、2年据え置き、10年返済。診療単価向上、経費削減で事業収支黒字化を目指す計画となっている。

聞こえのサポート

聞こえづらさがある人の早期受診を促すとともに、現在実施している18歳未満の軽度・中等度難聴児の補聴器購入助成を全年齢に拡充することで聴力機能の低下によって日常生活に不便が生じている人の円滑なコミュニケーションの維持向上を図る

100万円

●対象補聴器と助成額
- 補聴器(イヤモールドなど付属品含む)の購入費用で5万円以上の補聴器を購入した場合に1人1台、1回限り25,000円を助成(40人分)

江津ひと・まちプラザ管理

消火器・消火栓ホース更新
空調機・男子トイレ・ダウンライト修繕
特定建築物定期点検業務

256万円



有福温泉公衆浴場管理

御前湯建物調査および御前湯水冷式ヒートポンプ点検調査

221万円





観光費

風の国(池)修繕料 …… 58万円
江津市観光誘客推進事業補助金 … 450万円
(インバウンド関連)

508万円



道路維持補修

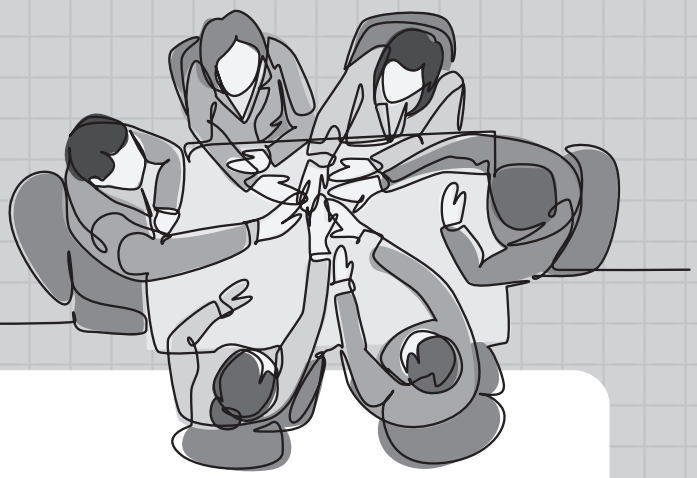


市道長谷線

測量業務委託料
(市道長谷線・市道浅利黒松線)
道路改良工事
(市道長谷線)

3500万円

委員会 ピックアップ



総務民生委員会

●地方財政の充実・強化を求める意見書の提出（請願）

令和９年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、一般財源総額のさらなる充実を図るよう国に意見書の提出を求めるもの

委員質疑

問 請願には地域の公共サービスを担う人員が大きく不足しているとあるが、市の認識は。

答 定員管理計画に基づき、各課の所属長と聞き取りを行いながら対応している。

●飲食料品消費税率1%引下げ案による江津市財政への影響の明示と市民生活に必要な施策の維持を求める（陳情）

国の制度変更による市財政への影響額・追加経費・国の補てん措置・市の対応方針を明らかにし、市民生活に必要な施策を維持する財源確保を求めるもの

委員質疑

問 飲食料品の消費税が1％に引き下げられた場合、市への影響は。

答 島根県の試算方法では約3億円となる。あくまで試算であり、今後の動向を注視する。

建設経済委員会

●江津市地域経済牽引事業の促進を重点的に図るべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例（一部改正）

経済社会情勢の変化を踏まえた企業の事業活動の持続的な発展を図るための産業競争力強化法等の一部を改正する法律の施行に伴うもの

委員質疑

問 本市では、条例の施行はいつか。

答 国の法律の施行日は令和8年7月31日だが、市の条例の公布日は本会議終了日の9月29日。

本会議 における 賛成・反対意見

陳情第4号 飲食料品消費税率1%引下げ案による江津市財政への影響の明示と市民生活に必要な施策の維持を求める

不採択

反対 植田 圭介

市民生活や江津市の財政への影響を心配する陳情の趣旨は、十分理解できるが、本市議会には趣旨を認める「趣旨採択」の仕組みがない。また、飲食料品消費税率引き下げは、まだ国の制度設計や地方への補てん措置が決まっていないため、陳情で求める「制度決定前の段階で市が詳細な影響額を算定し対応する」ことは適切でなく、制度内容が明らかになった段階で必要な対応を行うべきと考え反対。

賛成 森川 佳英

陳情は、食料品消費税1％への減税に際して本市に対し、市財政への影響額や追加経費を明らかにし、国へ継続的な財政措置を求め、市民生活に必要な施策の維持と説明を求めるもの。消費税減税で本市財政は約3億円の減収が見込まれる。自治体として影響を事前に検証し、福祉・教育・医療・防災など市民生活を守る主体的・計画的な取り組みが不可欠であるため賛成。

議案第44号 令和8年度 一般会計補正予算(第2号)

可決

反対 多田 伸治

共産党市議団が繰り返し求めてきた補聴器購入費補助が計上された点は評価できる。しかし市行政として、済生会への4億円の無利子・無担保貸付について、市民の地域医療ニーズを把握せず、使途や経営改善について十分な説明責任を果たしていない。また、地方版図柄入りナンバープレート導入事業も物価高騰の中で優先すべき施策ではないため反対。

賛成 寺前 克宏

この補正予算は西部島根医療福祉センターへの施設整備補助金および済生会江津総合病院への施設整備・貸付金が主なもの。貸付金は済生会のグループ施設再編整備に伴う移転工事などによる一時的な資金繰りを安定化させるもので、地域医療の維持・確保のためには必要不可欠な貸付けであり、貸付にあたり十分な精査や貸付後の経営改善進捗・地域医療体制への効果を継続的に確認し、債権の適切な管理などに留意されることを強く求めた上で賛成。

認定第1号 令和7年度 一般会計歳入歳出決算の認定について

認定

反対 森川 佳英

当初予算から大きく膨張し、不用額が8億2646万円、翌年度繰越額が15億2831万円と合計23億5477万円を超える未執行が生じた。これは事業計画や予算管理に課題があることを示している。また、基金残高が68億4767万円で実質黒字が5億3410万円なのに、物価高騰に苦しむ市民への還元は不十分だった。「最小の経費で最大の効果」とはなっていないため反対。

賛成 藤間 義明

「江津市総合振興計画」の趣旨のもと、最重要課題である人口減少対策を推進するために必要な施策や「スマートシティ江津推進構想」に基づくＤＸの推進に重点を置いて実施。
主なものとして「自治体情報システム標準化・共通化事業」「地域医療支援対策事業」「防災集団移転促進事業」「仮称西部統合小学校建設事業」などの推進に取り組み、一定の成果が見られ、その他の事業も適正に処理されており賛成。

反対 多田 伸治

黒字や行政の貯金である基金を増やしながら、市民への再配分は不十分だった。困窮者への支援・生活交通・地域医療・子育て支援・高齢者福祉・住宅耐震化・危険空き家対策・教育などの分野で住民ニーズに沿っての施策となっていない。また、市長の県外出張やシティプロモーションの取り組みも成果が説明されていない。市民の声を反映し、税金を暮らしの充実に活用できていないため反対。

本会議 における 賛成・反対意見

認定第2号 令和7年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

認定

反対 森川 佳英

国民健康保険は、市民が必要な医療を安心して受けるための重要な制度だが、被保険者世帯の75％が保険料軽減対象となる一方で、140世帯が滞納せざるをえない状況となっており、特に低所得世帯で必要な医療を受けられる支援が十分と言えない。また、特定健診の受診率は52.3％と目標の60％を下回り、病気予防の取り組みも不十分となっているため反対。

賛成 寺前 克宏

本事業は国民健康保険被保険者の疾病・負傷・出産・死亡に関し必要な給付を行い、社会保障や市民保健の向上が目的。医療費は被保険者の後期高齢者医療保険への移行などにより減少しているが、被保険者一人当たりの医療費は依然として高く推移しており、今後も特定健診の推奨など地道な予防事業を推進し医療費適正化に努める必要がある。審査では資料説明を受け、形式収支は黒字であり、目的達成のため適切に執行されていると判断し賛成。

認定第4号 令和7年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

認定

反対 森川 佳英

制度を維持することは重要だが、年金生活の高齢者に過大な負担を求めるべきではない。被保険者5060人のうち約7割の3517人が保険料軽減の対象となっており、困難な実態が示されている。また、8人の滞納者の生活実態の把握・支援も不十分。保険者である島根県後期高齢者医療広域連合への被保険者の負担軽減の働きかけもないため反対。

賛成 渡辺 信明

本事業は県の広域連合が運営主体で、本市は窓口業務など役割分担している。令和6年度末比で被保険者数は増加し、歳入の保険料は約1900万円増加、一般会計繰入金は約100万円減少。歳出では広域連合納付金が約550万円増加だが、総務費削減などにより全体では約250万円増加にとどめ、差引額は1126万円となっている。審査説明で保険料均等割軽減も3517名に対応など、適切に執行されており賛成。

認定第5号 令和7年度 水道事業会計決算

認定

反対 多田 伸治

県への受水費低減の働きかけは評価できるが、水道料金の滞納世帯で給水停止された20世帯のうち5世帯に中学生や幼児がいたことは看過できない。水道は命に関わる重要なライフラインであり、滞納世帯への福祉支援の実績がなく、物価高騰下の困窮実態の把握もしていない。市民の生存権や児童福祉を守る観点から反対。

賛成 森元 健二

損益計算書の当年度純利益、キャッシュフロー計算書の業務活動におけるキャッシュフローともに黒字。また、水道は市民の生命と生活を支える最重要のライフラインであり、本市の水道事業を取り巻く環境は厳しい中にあるが、負担の公平性の確保、水道事業の持続可能性の担保、民生部門との連携による生活困窮者への丁寧な配慮をするなど、適切かつ適正に事業を運営されているので賛成。

認定第6号 令和7年度 下水道事業会計決算

認定

反対 多田 伸治

下水道事業で取り組む管渠整備について、6億2338万円を投じながら、将来的な採算の見込みは立たず、整備区域外の市民へのメリットも説明されなかった。物価高騰で市民生活が厳しい中、多額の税金を管渠整備に充てるより、合併浄化槽整備や市民・事業者への生活支援を充実させるべきであり、財政的に無理があるため反対。

賛成 山根 兼三郎

下水道会計は国基準に基づく一般会計繰入れが大半を占め、工事進捗で接続率が一時的に低下したものの、区域縮小後の方針に沿い適切に執行されている。浄化槽汚泥の受入れも含め両制度で水環境を守っている。今後は未接続約1400戸への働きかけが経営改善の鍵であり賛成。

○:賛成　●:反対

議決結果【第3回議会定例会】

	議案番号	件　名	議決結果	森元健二	植田圭介	渡辺信明	坂田優美	寺前克宏	下谷忠広	森川和英	植田好雄	鍛治恵巳子	多田伸治	山根兼三郎	森川佳英	藤間義明	坂手洋介
執行部提案	同意第６号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長職は表決権なし
	同意第７号	教育委員会委員の任命について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意第８号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第43号	江津市地域経済牽引事業の促進を重点的に図るべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第44号	令和8年度島根県江津市一般会計補正予算(第2号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	
	議案第45号	令和8年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第46号	令和8年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第47号	令和8年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第48号	令和8年度島根県江津市下水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第１号	令和7年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	
	認定第２号	令和7年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	
	認定第３号	令和7年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第４号	令和7年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	
	認定第５号	令和7年度島根県江津市水道事業会計決算の認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	
	認定第６号	令和7年度島根県江津市下水道事業会計決算の認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	
請願	請願第１号	地方財政の充実･強化を求める意見書の提出についての請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	陳情第４号	飲食料品消費税率1%引下げ案による江津市財政への影響の明示と市民生活に必要な施策の維持を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	
議員提案	意見第１号	地方財政の充実･強化を求める意見書の提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

国に対し意見書を提出しました

地方財政の充実･強化に関する意見書(要旨)

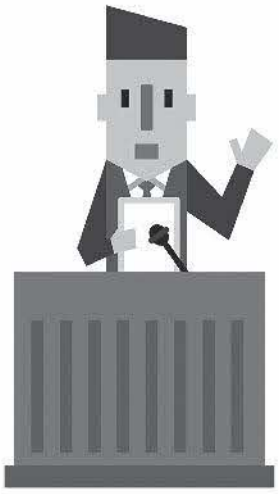
少子高齢化･人口減少･物価高･人件費増･ＤＸ･防災･地域医療･交通など増大する自治体の財政需要に対応するため、十分な財政措置を講じ、減税時に地方財政への影響が想定される場合は確実に補てんを行うなど、地方一般財源と地方交付税の充実･強化を求める。

一般質問

市議のQ&A 市のA

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。



江津市議会
公式YouTube
チャンネル

※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。各議員の顔写真の右下の二次元コードからも動画の閲覧ができます。
また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。
（ただし掲載は次期定例会の前になります）

江津市をもっと暮らしやすくするには、こうしたらいいな

植田 圭介（うえだ けいすけ）

Q 地域医療に関する「住民の声」を全体的に把握する予定は

A テーマを医療に絞ったアンケートなどは考えていない

Q. 市長はよく「市民と一緒に地域医療を守る」と言うが、具体的にはなにを指しているのか。

A. 特定の形にこだわることなく、必要なときに必要な方法で臨機応変に取り組みたい。

Q. 再度問うが「市民と一緒に」は住民の声が含まれているのか。

A. 診療データや医療提供体制などを医療機関と情報共有・意見交換しながら確保することが、市民と一緒に地域医療を守るということで、住民ニーズと捉えている。

Q. 議会は市内全地域を回り、のべ200人の意見をまとめて市長へ渡したが、活用できないか。

A. 機会や場面があれば活用する。





江津市広報紙かわらばんより

【学校再編】

Q. 実施した住民説明会はどのような目的で実施され、どんな意見があったか。

A. 決定事項の説明ではなく、学校再編案を説明し意見や懸念を聞くことを目的に開催した。再編の必要性・進め方・教育環境・通学手段・あり方など多数の意見があった。意見を踏まえ、修正を加えて12月末の計画策定を目指す。

Q 「人口減少対策」としてのシティプロモーションとは

A 市の情報発信を行い、行政と民間・住民によるまちづくり



藤間（とうま） 義明（よしあき）

Q. インナーとアウターでのシティプロモーションの違いは。

A. インナーシティプロモーションは、本市が市民へ、まちの理想の姿や風土を広め、地域への誇りや愛着を持てるようにする取り組み。アウターシティプロモーションは、市外の人を呼び込むため、まちの魅力を発信する取り組み。

Q. テレビ東京「田村淳のTamariba」の取り組みは。

A. 「田村淳のTamariba」は地域課題の解決に取り組む番組。主な取り組みとして、IT企業からの人材派遣の実現や、GOTSU CREW制度の創出、メタバース石見神楽のコンテンツ化などを行い、令和7年度の内閣府地方創生担当大臣賞およびデジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤーリージョナル賞を受賞。

Q. GOTSU CREW制度とは。

A. 本市と多様に関わる仲間を新たにつくり出す公式観光応援大使制度。現在約160人を任命。



GOTSU CREW 任命書

Q 熱中症リスクの高い高齢者への対策を

A 水分や塩分摂取、エアコンなど活用した本人の予防活動が基本



植田（うえだ） 好雄（よしお）

Q. 電気料金の高騰を受け、節約や我慢からエアコンを使用しない実態がある。年金暮らしの高齢者や低所得世帯へ、期間限定の給付金制度の創設はできないか。

A. 令和8年7月に非課税世帯1世帯3万円の給付金を支給した。助成制度は現時点で検討していない。

Q. 災害時に指定避難所となる施設へのエアコン設置を。

A. 財源や空調効率の問題、公共施設でない施設への設置など課題も多く、避難所環境改善に施設管理者と協議を進めたい。

Q. 小・中学校体育館にエアコン設置を。

A. 学校再編計画との整合性や財政状況を勘案し、適正な整備手法を研究する。

【災害対応と職員体制】

Q. 大規模災害が常態化している。災害派遣を含め、災害対応を見据えた市職員の定員管理の見直しを。

A. 平常時の市民サービスの維持に影響するため、バランスを見極めることが必要で、災害規模・復旧状況などから、必要に応じて見直しを検討する。



平時も災害時もマンパワーが必要

Q 学校統廃合計画案について地域の合意形成へさらなる説明を
A 要望があれば対応する



多田（ただ） 伸治（しんじ）

Q. 策定中の『第3次学校整備再編基本計画案』は、令和10年春に一部の学校を統廃合しようというもの。学校は地域の文化・教育施設で、統廃合には地域の理解が不可欠だが、説明会はわずか6回。庁舎建設の際は全地域コミュニティで説明会があった。学校再編は庁舎建設より住民への影響が大きく、統廃合による新たな学校の建設費は庁舎建設費より高額。もっと丁寧な説明が必要ではないか。

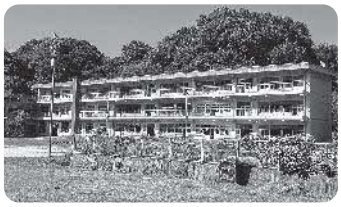
A. 各校区で実施した説明会は、市広報・公式LINE・地域コミュニティや保護者用情報伝達アプリで周知した。参加者から多数の意見・質問があり、市ホームページで全項目を公開している。

Q. 6回で参加はのべ131人。本市の未来を決める計画案の説明会として問題がある。廃校とされる郷田小や江東中は校区が広大だが、1回の説明会で地域住民の声をくみ上げられるのか。

A. 説明会が足りないとの要望があれば、今後対応する予定。

Q. 各地域で説明会をやる必要がある。「要望があればやるかもしれない」が丁寧な説明なのか。

A. 主張は分かるが理解してほしい。





令和10年春に廃止とされる2校

Q 市民は病院までどうやって通っているのか
A 市行政は把握していない。次期計画の調査で移動需要を確認



山根（やまね） 兼三郎（けんざぶろう）

Q. 移動の際、家族に送ってもらうしかない人が増えている。助け合いで送迎する仕組みはあるか。

A. 介護予防・日常生活支援総合事業に、住民主体の送迎団体へ市が助成できる事業がある。社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが相談に応じる。

Q. 東部で走るAI乗合交通「のるイコごうつ」の運用状況は。

A. 実証実験から利用は着実に増え、通院や買い物を支える需要が確認できた。課題はWEB予約の浸透と乗合率の低さ。

Q. 市民アンケートが行われているが、通院についての設問はあるか。

A. 市内2300世帯に配布しており、医療機関への移動需要を問う項目がある。次期地域公共交通計画は令和9年度末までに策定する。

【アメリカネナシカズラ】

Q. 和木町海岸の外来種アメリカネナシカズラへの対応と相談窓口は。

A. 6月下旬に問い合わせを受け、県への照会でアメリカネナシカズラと判明した。海浜の植物に影響がある場所は駆除が必要とされ、かわらばん9月号で駆除方法を周知した。窓口は市民生活課。



アメリカネナシカズラ
（和木町海岸）

Q 熊本地震の被災地への職員派遣で得られた知見は
A 派遣職員から得た情報は庁内で共有し活かしたい



森川（もりかわ） 佳英（よしひで）

Q. 熊本地震の被災地へ本市からも職員が派遣されているが、被災地で得た課題認識は。

A. 派遣職員からは、派遣先の氷川町の職員は自らも被災しながら支援業務に従事しており、相当に疲労していると報告されている。

Q. 派遣で得た知見をどう本市で活かすか。

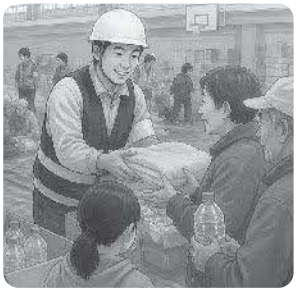
A. 派遣職員から得た情報は、庁内で共有して、活用できるところは活かしていきたい。

Q. 水道管の基幹管路の耐震化と断水対策を今後どう進めるか。

A. 令和6年度末時点で対象管路の総延長37㎞に対し、耐震化は18㎞で49％。耐震化を進めているが、防災拠点や医療・介護施設などへの管路に重点を置いている。断水対策としては、情報収集・断水広報・漏水調査・応急復旧活動を速やかに実施し、早期の断水解除に取り組む。

Q. 避難所の整備強化は。

A. 内閣府は、避難所の衛生環境の維持や健康管理体制の確保・プライバシー確保・暑さ寒さ対策・入浴や洗濯の機会確保・熱中症対策の冷房設備や飲料水や塩分の補給を講じるよう通達している。国のガイドラインを参考に充実強化を図る。



物資などを配布している避難所の様子
（画像はAIで作成）

Q 地域の医療体制維持へ本市の支援・介入方針は
A 財政支援で後押しし開業や承継の資金課題を後方支援



坂田（さかた） 優美（ゆうみ）

Q. 地域医療維持には市民の参加が不可欠。近隣市のように市民が主体となって医療を支える「市民の会」などの組織の立ち上げや活動への支援についての見解は。

A. 活動内容が不明な未設立の任意団体への具体的な支援は困難。

Q. 各団体の連携不足で活動が広がらない。市行政が司令塔となり協議の場を設けるなど、リーダーシップを発揮すべきでは。

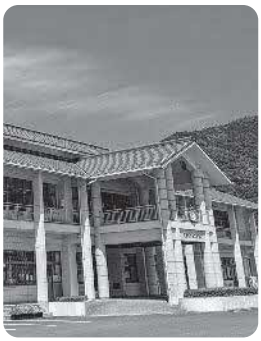
A. 各関係機関や団体がそれぞれ取り組んでいる活動に対し、今後も可能な範囲で協力したい。

Q. 厚生労働省の新たな地域医療構想では、在宅医療や医療・介護の連携強化が強く求められている。現在の提供体制や今後の課題は。

A. 支援センターでの相談対応や多職種勉強会で顔の見える関係づくりを進めている。今後は人材不足を見据え、ICTの活用などによる情報共有の効率化が重要と考える。

Q. 【第3次学校整備再編計画】説明会での意見の周知や長期の財政見通し、跡地利用や避難機能の維持への見解は。

A. 意見は広報紙で周知。財政は国の補助金などを最大限活用。跡地利用や防災機能は庁内体制を構築し検討。



桜江小学校

Q 安心・安全に暮らせる道路確保と災害時の避難道の状況は

A 適切な維持管理に努め落石対策などを講じている



森川 和英（もりかわ かずひで）

Q. 市道の未整備や救急・福祉車両の進入支障箇所の対策は。

A. 様々な要因で工事中断がある。防災対策・通学路整備・冠水対策など実施中だが、新たな整備はしていない。狭あい道路拡幅整備促進計画に基づき道路パトロールや除草業務で対応する。

Q. 通学路の整備状況は。

A. 令和7年度末で要対策が9カ所で令和8年度は2カ所施工予定。

Q. 市道川戸渡田線の整備は。

A. 山あいの狭あい区間で法面崩壊やすれ違い困難な箇所がある。江の川治水に合わせて地域の要望を可能な限り反映するよう進め、通行の安全確保に努める。

【高齢者の働き方】

Q. 高齢者の労働力確保は。

A. 生産年齢人口の減少は、地域経済を縮小させ、活力に影響を及ぼす。高齢者の就労が必要と考える。

Q. 就労に向けての対策は。

A. ハローワークやシルバー人材センターを通じた就職支援を行う。

Q. 本市からシルバー人材センターへの委託は。

A. 市管理の施設や道路の草刈り・清掃。



働く高齢者

Q NTM症（非結核性抗酸菌症）啓発週間以降の展開について

A 国の動向を注視し当面は適宜周知啓発の取り組みを行う



下谷 忠広（しもたに ただひろ）

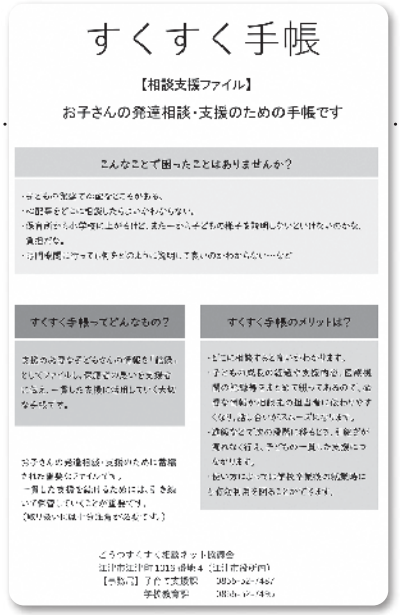
Q. 実施予定の5歳児健診の詳細は。

A. 令和9年度から実施予定。2カ月に1回、子育てサポートセンターで集団方式により実施。令和9年4月時点での年中児全員が対象。周知は対象児童への個別通知と市ホームページへの掲載。各保育施設にも案内を行う予定。

Q. 幼児通級指導教室の併設への認識は。

A. 近隣自治体の設置運営手法や小学校の通級指導との円滑な接続のあり方など、調査研究を進めたい。

Q. 「すくすく手帳」の啓発をより積極的に進めるべきでは。



すくすく手帳

【相談支援ファイル】

お子さんの発達相談・支援のための手帳です

こんなことで困ったことはありませんか？

・子どもの発達での心配なことがある。
・心配事をどこに相談したらいいかわからない。
・保育所から小学校にかけて、また一つ一つ子どもの様子を説明しなければいけないのかな、負担だな。
・引き継ぎって、先生どうしよう、説明して言いたいことがわからない…など

すくすく手帳ってどんなもの？

すくすく手帳のメリットは？

Q. 令和8年より啓発週間が設定されたが、その意義は。

A. 必要な方に届くよう、関係機関で引き続き啓発していく。

【非結核性抗酸菌症】

A. 自然環境の中に広く存在する菌による感染症であり、人から人へは伝播せず、一般にはあまり知られていない疾患である。よって広く周知啓発を行い、早期診断・治療につなげる観点で重要な取り組み。

Q 第3次江津市学校整備再編基本計画案の変更点は

A 第2次計画の枠組みをベースに個別の事情に合せて詳細に検討



寺前（てらまえ） 克宏（かつひろ）

Q. 江津東小学校は敷地も広く、校舎の改修によりトイレも洋式化され、エレベーターも整備されているため、市長が述べた「インクルーシブ教育システムの構築」に合致する。郷田小学校・渡津小学校を江津東小学校に統合する考えはないか。

A. 子どもたちの教育環境や、児童・保護者の負担を総合的に勘案し、現時点で最も現実的な選択肢として、現在の計画案を提示している。

Q. 江津東小学校のスクールバスに中学生も乗車させ、小学生の降車後に、東部から江津中学校へ運行することはできないか。

A. 現在運行しているスクールバス路線は、それぞれの通学区域に基づいて設定しているため困難。

Q. 地域公共交通による通学支援の実証実験を、令和9年度の予算に計上する考えはないか。

A. 既存の公共交通の利用促進は、本市にとっても重要な課題と認識している。制度設計や実証実験も含め検討を進める。



Q 市内保育施設での紙オムツのサブスクリプション導入状況は

A 11施設のうち6施設が導入 0歳児7割・1歳児3割が利用



鍛治（かじ） 恵巳子（えみこ）

Q. 保育施設での紙オムツのサブスクリプションへの認識は。

A. 保護者は紙オムツの記名と持参が不要、保育士は園児ごとの管理が不要となるメリットがある。

Q. お試しで無償提供を受けることができる。保護者・保育士の負担軽減へ導入の考えは。

A. 市内施設の様子を確認し、制度導入について情報共有したい。



両手いっぱいの荷物をもつお母さん
（画像はAIで作成）

【情報発信】

Q. 災害時、防災避難情報にたどりつくためには。

A. 災害時は何が起こるか分からない。停電時でも個別受信機であれば情報収集が可能。今後もできる限りどこにいても情報が収集できるよう多様な伝達手段による発信を行う。

Q. 市内外へ一番の発信ツールはホームページ。改善策は。

A. 生成AIの導入や不要なページの削除、チャットボットの改善などを図る。

【猫対策】

Q. 地域猫活動を支援するためにも、去勢・避妊の手術費への助成を。

A. できることは何かも含め検討する。

市議会議員研修会に参加

7月28日、出雲市のビッグハートで令和8年度島根県市議会議長会議員研修会が開催され、江津市議会から12人が参加しました。

京都大学人文科学研究所教授の藤原辰史氏が「自治を考える―水、土、人をつなぐもの」と題して講演し、水や土、人とのつながりを切り口に、私たちが毎日食べる食糧が、どのような歴史や犠牲、環境負荷の上に成り立っているのかを直視し、自然と共生することの大切さについて学びました。



今年も済生会病院まつりにブース出展！

＼ 医療従事者のみなさんへ ／
「ありがとう」と「江津のいいところ」を届けました

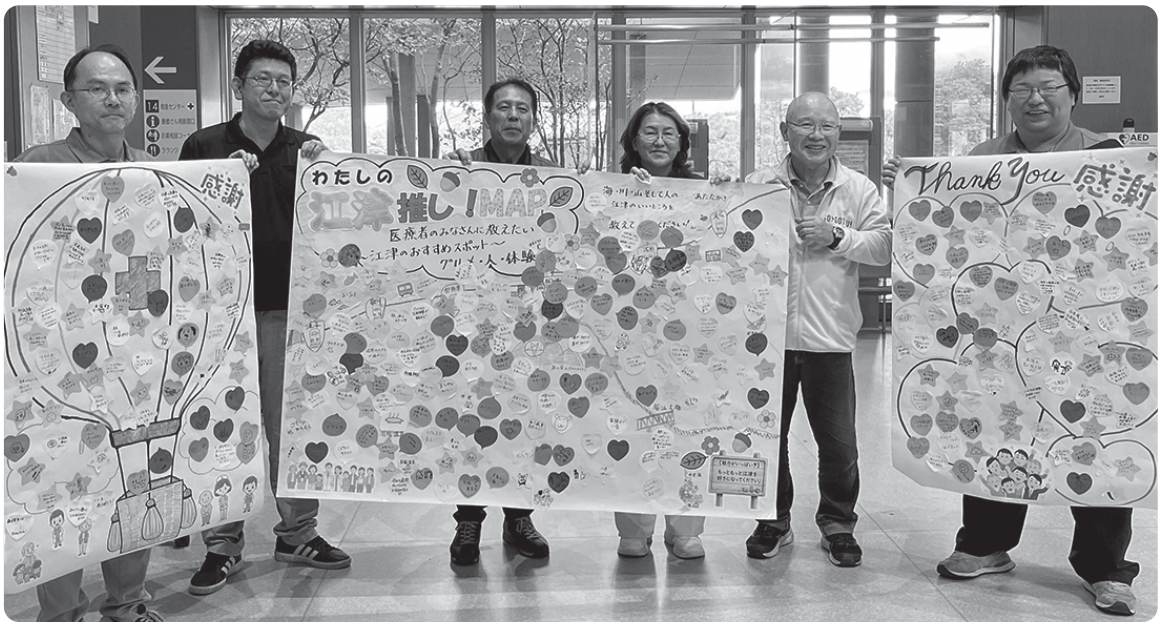
10月18日、地域医療を考える江津市議会議員連盟は、済生会江津総合病院の病院まつりに、昨年に続きブースを出展しました。

今年のテーマは「医療従事者のみなさんに教えたい江津のおすすめスポット」。手描きの大きな地図「わたしの江津推し！MAP」に、市民の皆さまが思い思いの“推し”を付箋に書いて貼っていきました。「日本海に沈む夕日がきれい」「有福温泉最高！」「石見神楽が観られる」「人のあたたかさ」など、地図はあっという間に、色とりどりの言葉でいっぱいになりました。

隣の「サンキューメッセージ」のボードには「定期の通院でお世話になっています。ありがとうございます」「地域に安心をありがとう」など、病院スタッフへの感謝の言葉がたくさん集まりました。

小さなお子さんからご年配の方まで、多くの笑顔に出会えた一日でした。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

地域の病院を支えているのは、そこで働く一人ひとりです。江津の魅力を知り、このまちを好きになってもらうことが、医療従事者に長く働いていただく力になると考えています。議員連盟はこれからも、市民の皆さまと一緒に地域医療を守る活動を続けていきます。



メッセージでいっぱいになったボードと議員連盟

江津よいとこ♬ 来てみんさい～♪

本市の一大イベント「江の川祭」に改選後初のメンバー14人全員で江津市音頭パレードに参加しました。パレードには市内13団体・法人から350人の参加がありました。パレードを沿道から見守る方に声をかけていただき、笑顔になる場面も多くありました。

江津駅前周辺と江の川河口の２つのエリアでステージイベントが開催され、駅前ではパレード出発式や露店などで賑わい、河口では若者たちが中心となり新しい賑わいを生み出していました。



丸山知事へ 石見四市議長が要望

昨今、ツキノワグマをはじめとする野生鳥獣による被害が深刻化する中、石見地域で共通する喫緊の課題であり、一体となって取り組むべきであるとの認識が共有されました。

石見地方の４つの市議会で構成される石見四市議会議長会では島根県の丸山知事に対し、鳥獣被害対策の強化を求める要望活動を行いました。



次回12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/15	16	17 委員会（議会運営）9:30～	18	19	20 全員協議会 9:30～	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30 委員会（議会運営）15:00～	12/1	2 本会議 10:00～	3	4 議員連絡会 9:30～	5
6	7	8 本会議 10:00～	9 本会議 10:00～	10 委員会（総務民生）9:30～	11	12
13	14 委員会（建設経済）9:30～	15 委員会（予算決算）9:30～	16 情報交換会 9:30～	17	18 本会議 14:00～	19

※開始時間は予定です。

議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎２階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう

市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

編集後記

今年も早いもので、残り一カ月となりました。猛暑だった夏も終わり、秋のお祭りが各地で開催され、毎年恒例の「桜江いきいき祭り」や「ごうつ秋まつり」に参加された方も多かったのではないでしょうか。

12月12・13日には「52（ごうつ）未来プロジェクト2026」が、2020年の「日本初公道カートレース」に引き続き、実施されます。様々なご意見があるとは思いますが、市民の皆さまで盛り上げていただき、こちらも毎年恒例の行事となり、観光客・関係人口の増加や関係企業の誘致など、本市がより活性化してほしいと願っています。

また、この「市議会だより」も新しい７人の委員で、より読みやすい紙面となるよう取り組んでおりますので、ご意見などをいただきますようお願いします。

（渡辺 信明）

■編集・発行責任者

議　長　坂手洋介

■市議会だより編集特別委員会

委員長　植田圭介
副委員長　渡辺信明
委　員　寺前克宏
委　員　植田好雄
委　員　鍛治恵巳子
委　員　多田伸治
委　員　山根兼三郎

市議会だよりはこちらから